

沖縄県公共工事入札等適正化委員会 議事概要

開催日及び場所	平成 17 年 2 月 10 日	
出席者氏名	宮城 嗣宏      宮里 節子      有住 康則	
審議対象期間	平成 16 年 8 月 1 日 ~ 平成 16 年 11 月 30 日	
再苦情処理件数	件 数                      0 件	(備考)) 平成 17年度第 1回会議 平成 17年 6月 16日 (木) 午後 2時 30分より開催予定。 抽出担当委員は宮城嗣宏 委員長とする。
入札審議件数	総件数                      885 件	
一般競争入札	5 件	
公募型指名競争入札	38 件	
指名競争入札	826 件	
随意契約	16 件	
委員からの意見・ 質問、それに対 する回答	意見・質問	
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見 の具申の内容	な し	な し

意見・質問	回答
<p>Q 1 博物館新館・美術館工事で、その入札参加資格要件に関しては、十分に審査していると思うが、この工事のように落札価格が20億4,500万円と高額で大規模工事の場合、入札金額の積算内訳についても子細に検討して落札者を決定するのか。入札金額のみで落札者を決定しているのか。</p> <p>Q 2 博物館の展示工事では内装工事でも特殊な技能が必要だということだったが、この建物本体工事は資格要件を満たしていれば、設計図に従って充分施工可能だと判断しているのか。</p> <p>Q 3 博物館新館展示工事では、過去に2,500㎡以上の特殊工事の経験があることが資格要件となっているが、建築工事でも美術館や博物館の経験があるかどうか資格要件の検討項目となっていなかったのか。</p> <p>Q 4 博物館新館展示工事で業者に求める要件の中に同様な施設の施工面積の指定があったが、この面積を2,500㎡以上とした理由はなにか。また、こういう展示工事を行う会社というのは全国的にも少ないと思うが何社くらいあるの</p>	<p>A 1 現在、県では入札に参加する場合には、事前に工事費内訳書の提出を義務付けしています。入札時は、工事総額での入札になりますが入札に必要な資格要件を満たしていて、事前に工事費内訳書も提出しているので、落札者を決定する際には各々の入札金額の差について特に具体的な調査・検討をすることはありません。予定価格と最低制限価格の範囲内で一番低い金額で応札した業者を落札者としています。</p> <p>A 2 設定した一般競争入札参加資格要件をクリアしていれば、充分、施工可能な能力があると判断して入札を執行しています。</p> <p>A 3 博物館や美術館という施設自体が非常に特殊な建物であり、毎年のようにこのような建設工事があるという状況にありませんし、また、県内にはその施設自体が数少ないため、今度の工事では同種工事の施工経験は資格要件として検討しませんでした。</p> <p>今回の博物館新館工事は、現在、首里にある数十年前に建設された博物館の建替えであり、また、美術館も県立としては初めてです。直近の同種工事の事例としては浦添市立美術館の建設工事になると思いますが、このような施設建設工事の事例が数少ないため、施工経験の有無は資格要件とすることはしませんでした。</p> <p>A 4 今回の博物館の常設展示の面積は約2,600㎡以上あります。適正な施工を確保するためには同程度の実績が必要だとして、2,500㎡以上の施工実績があることを資格要件にしました。この工事は1階の面積が約2,600㎡という大空間で、総合展示と5つの部門展示をするもので、空間的な制約のなかで、それらを一体化し観覧者にとって理解しやすい展示物をつくるという難度の高い力量が</p>

意見・質問	回答
<p>か。</p> <p>Q 5 博物館展示工事で特殊な技能や実績が必要だということになると公募ではなくこちらから情報を提供して入札参加するようになるのか。</p> <p>Q 6 この博物館新館・美術館工事は複合施設とのことだったがこの設計図では別々になっているようだが、博物館美術館を含めて建設工事を何期かに分けて建設し、最初は博物館から建設するということなのか。</p> <p>Q 7 沖縄特別自由貿易地域の工事で指名業者を最初に 24 共同企業体選出したと書いてあるがこれも規定によるのか。</p> <p>Q 8 内規に定められた 24 共同企業体とは別に、8 共同企業体を選出したのは何か別の規定によるのか。</p>	<p>求められています。そのため、各地の歴史・文化施設等を扱った実績のある業者の蓄積された能力やノウハウがぜひ必要だとの判断で、その施工能力を確認するため同程度の施工実績があることという要件を参加資格の中に加えました。</p> <p>それから、そのような業者が何力所ぐらいあるかとの質問ですが、過去 10 年間ぐらいの各県の状況を調べたのですが、その 10 年間に約 2,000 m<sup>2</sup>以上の同クラスの工事をした業者は 3 社ありました。また、2,000m<sup>2</sup>に少し満たない実績のある業者があと 2 社ありましたので、全体としては 5 社でした。</p> <p>A 5 この工事は県の財務規則によって一般競争入札としたわけですが、県の登録名簿を調べたところ、先程の業者の中で 4 者が登録されていました。その 4 者に対し、こちらから情報提供するとともに、インターネットでも広報を行いました。該当しそうなところには、直接電話も行いました。</p> <p>A 6 この施設は建物としては一体の建物になっています。建物の建築工事は全体を 3 工区に分割し、1 工区が抽出事案である博物館新館部分、2 工区が供用部分、3 工区が美術館部分として同時発注しました。従いまして、工事については、3 工区とも同時期に入札・契約を行っています。</p> <p>A 7 土木建築部の指名審査委員会の内規で、公募型共同企業体発注の工事については 24 組となっています。</p> <p>A 8 この工事の場合は、内規に従って構成員の経審評点の合計点数が高いものから、手持ち工事などがある企業体を除き、上位から 24 企業体を選定しました。通常は、その下位の業者は選定されないのですが、土木建築部に</p>

意見・質問	回答
<p>Q 9 自由貿易地域賃貸工場建設工事とは直接的には関係ないと思うが、今回は第6期であるが、第5期までの工事で完成した工場について、全部の工場の賃貸は完了しているのか。</p> <p>Q 10 そうというような入居状態なのに今回も新築したら、また空き工場が増えることにはならないか。</p> <p>Q 11 安田海岸防災林造成工事の業者選定では12者が選定されていますが、国頭村、大宜味村、東村の3つの地域から選定した理由をお聞きしたい。</p> <p>Q 12 農業研究センター地区ほ場整備工事の1億8,000万円の工事費の内訳を教えてください。この工事は区画整理と調整池の工事となっているけれど、どこに大体どの</p>	<p>は出来るだけ地元の業者を優先して指名するという基本的スタンスがあるので、指名審査会の委員から地元の中部地区の業者同士の企業体を推薦する意見があったため中部同士の8企業体を追加しました。</p> <p>A 9 この賃貸工場の管理については施設建築室の所管ではなく、商工労働部の企業立地推進課で所管しているのですが、第1期から第5期までの工事で18棟完成しています。現在、完成した18棟のうち10棟は空いているようです。なぜ空いているのかということですが、やはり優良企業に入居して欲しいということでその選定が非常に厳しいようです。入居したにもかかわらず、家賃を支払わずに退去してしまうことが過去にあったようなので、入居基準に基づいた入居の選定を厳しくやっているということでした。</p> <p>A 10 応募企業はかなりあるようですが、その入居選定に時間を要し、まだ、入居者がはっきり決定していないということのようです。それで、工場の建設は今年度で一時停止して、次年度以降の工場建設は再度考慮することです。</p> <p>A 11 農林水産部の指名基準の規定によって12者を選定したのですが、この工事場所の安田というのが国頭村の安田部落、さらにその奥の小さい集落での工事ですのでやはり地理的条件を勘案し、まず、国頭村のAクラスを全部ピックアップしたのですが、Aクラスの業者が9者しかいなかったため、さらに地理的条件に近い業者から、また、農林水産部の治山事業実績等を配慮して残りの3業者を選定しました。</p> <p>A 12 今回の工事費の内訳ということですが、この工事の工種としては、区画整理と調整池となっていますが、調整池の工事は配水、要するにほ場の中に降った雨水が地区の外に流れていく時に、下流側に被害を与えないように調整するためのものです。この工事地域はジャーガ</p>

意見・質問	回答
<p>くらいかかるのかということをお願い。それと、農業研究センターの事業全体の費用について教えてほしい。</p> <p>Q 13 浦添商業高校の工事で受注していた業者が倒産したことにより他の業者と随意契約したようだが予算を追加したということはあったのか。当初の予算範囲内で契約したのか。</p> <p>Q 14 倒産した業者との間にトラブルはなかったか。工事費を払い過ぎていて返還してもらうというようなことはなかったのか。</p> <p>Q 15 倒産した業者との契約はどういう契約方式だったのか。その時には、その業者の倒産情報とかいようなものは県の方にはなかったのか。</p> <p>Q 16 このように倒産した場合は後を受けて工事をする業者との契約上の関係はどうなるのか。国では工事の品質の管理を徹底するために委員会等が設置されるようなことを聞いているが、これからは工事の品質管理が問題となると思</p>	<p>ル地帯であるため、コンクリートなど大規模な工種ではないため、調整池はさほど費用はかからないようになっています。従いまして、工事費のほとんどが区画整理、いわゆるほ場整備の費用だと考えてよろしいかと思ます。 農業研究センターの事業概要としては、試験場用地が 55 ha、総経費が 193 億円です。その内訳は、施設整備に大体 68 億円、色々な試験研究関係の備品が約 4 億円、ほ場整備が補償費も含めて 117 億円、その他の移転経費として 4 億円でトータルで約 193 億円となっています。</p> <p>A 13 この工事は同一建築物を 3 つに工区分けして施工する工事でした。そのため、工程管理や建築躯体の品質確保の面から、業者の倒産によって中断していた第 2 工区の残工事を早期に再開する必要があったため、概要説明の時に述べた理由等から、この建築工事の幹事工区である第 1 工区の業者と当初予算の範囲内で随意契約を行ないました。</p> <p>A 14 前払金は工事費の 40 %を支払っていたのですが、倒産時の工事出来高が 38.9 %しかなかったので、残りの 1.1 %については、前払金の保証会社である西日本建設業保証（株）から補償してもらいました。</p> <p>A 15 当初契約の請負額は 1 億 7,272 万 5,000 円でしたので、1 億 5,000 万円以上の特 A クラス、14 業者を選定して指名競争入札を行いました。その時点でその業者の倒産情報はありませんでした。</p> <p>A 16 倒産した業者が工事続行不能届を提出した時点で、契約の所管課である土木企画課と協議して契約解除の手続きを取ることにしました。また、工事の出来高確認のため、技術管理室の検査員、倒産した業者、西日本建設業保証（株）の方、また、その工事の契約保証をしていた大同火災（株）の方の 4 者の立ち会いのもと、工事の出来高を確認しております。もちろん、その際には</p>

意見・質問	回 答
<p>うが、この工事の評価はちゃんと なされたのか伺いたい。</p> <p>Q 17 信号機等台風被害復旧工事 についてですが、沖縄県は毎年台 風で信号機が壊れたりするが、そ のための予算はどうしているのか。 あらかじめ確保されているのか。</p> <p>Q 18 信号機の復旧工事は年に何 回ぐらいあるのか。信号機の工事 というのは緊急性を要すると思う が、その度に随意契約するのか。 それとも、ある基準を決めて業者 を選定しているのか。</p> <p>Q 19 その緊急時に対応可能な業 者というのは県内には何社ぐらい あるのか。</p> <p>Q 20 2社のうちどちらを選択す るかというのはどうするのか。</p> <p>Q 21 年度当初から1社と契約を 締結しているのですか。</p> <p>以上</p>	<p>私も監督員の立場から品質等はきちんとチェックし、工 事検査でも問題ありませんでした。</p> <p>A 17 いえ、確保されておりません。この工事は既決予 算で対応しています。金額が大きくなると予算要求も考 えないといけない場合もありますが、今回は約 400 万円 程度だったので入札残などで対応可能だったので、既決 予算の範囲で対応しました。</p> <p>A 18 これはやはり緊急を要するというので、県警の 方では年度当初に既存の信号機の安全性という面から保 守委託契約をしております。その保守委託契約をしてい る業者というのは人員、車両、あるいは資材・機材を 24 時間体制で対応できるため、台風の場合も緊急に対応可 能な業者ということで、その保守委託業者で対応してい ます。</p> <p>A 19 信号機業者自体は、現在県内では9社登録されて いますが、保守委託となりますと、それなりの人員の確 保や機材等を準備することが必要なため、現在までは、 大体2社が年度替わりで契約しています。保守委託業務 に対応するためには、会社自体も準備が必要なため、そ れに対応できる業者は、いまのところ2社しかありませ ん。</p> <p>A 20 年度当初に保守委託契約をした業者に、台風時も 対応してもらうことにしています。</p> <p>A 21 年度当初に、指名競争入札を行い契約しています。</p>